

命とくらしが大切にされる荒川区めざし 福祉・防災のまちづくりを区政の柱に



また、国民健康保険料は、昨年末の2

「もう払えない」：低所得・高齢者に大きな負担
 今年4月から介護保険料（3年に一回）、国民健康保険料（毎年）、後期高齢者医療制度保険料（2年に一回）の3つ改定が計画されています。改定といつてもいずれも値上げです。第一の問題は、経過や内容が区民にも議会にも十分示されないまま進んでいることです。しかし区は、介護保険サービスが約35%増を見込んでおり単純計算だと基準保険料が6千円台になつてしまいます。

また、国民健康保険料は、昨年末の2割増しに引き上げられ、結果として所得割も引き上げられ、加入全世帯が値上げです（下表参照）。その後国の診療報酬改定が小幅なため値上げ幅も小さくなるとしています。しかしこれまででも毎年の値上げで滞納世帯は増え、保険証のない世帯も増えています。この悪循環を断ち切るために、どうしても国庫負担の増額が必要です。

くらしにも政治にも希望のもてる年に 荒川区の新成人は1811人

1月9日にサンパール荒川で行われた成人式は、大ホールいっぱいの参加で行われました。第三日暮里小学校4年生が合唱と呼びかけでお祝い。「僕たちは去年10才を祝ってもらいました。10年後には私たちも成人です」さわやかな歌声に、新成人から『ありがとう』のかけ声。新成人のみなさんが希望のもてる新しい政治と社会の模索は続きます。



1991年4月2日～1992年4月1日生
 男性906名 女性905名

区長会の検討案と現行の国保料との比較

| | 現行の国保料 (経過措置あり) | 値上げ検討案 (経過措置あり) | 値上げ幅 |
|------------------------|--------------------|--------------------|---------|
| 年金受給者2人世帯 (年収230万円) | 11万4948円 | 11万8988円 | 4040円 |
| 給与所得者2人世帯 (年収300万円) | 18万8288円 | 19万5659円 | 7373円 |
| 給与所得者3人世帯 (年収400万円) | 29万3381円 | 31万6925円 | 2万3544円 |

横山幸次

日本共産党荒川区議会議員団

区政報告
ニュース

452

2012年1月15日
 発行 日本共産党区議団
 3802-4627
 fax 3806-9246
 E-mail arajcp@tcn-cat
 v.ne.jp
 町屋相談室
 荒川区町屋5-3-5
 3895-0504
 E-mail yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページ・ブログをご覧ください。
 「横山幸次」で検索して下さい。

裏面 荒川区の防災施設、区政のお知らせなど

定例法律相談

2月 6日(月)
 午後6時～8時
 横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介いたします。

生活相談は、随時受け付けています。
 TEL&FAX 3895-0504
 不在時は、留守電へ、後で連絡します。
 区役所控室 3802-4627

現在町屋7丁目特別養護老人ホームが建設中 完成は今年12月末、来年から開園の予定

まちの話題あれこれ

南千住6丁目の特養ホーム「癒しの郷」が建設され4月オープン控えて準備中です。ところで町屋7丁目の特別養護老人ホームの建設も現在基礎工事が行われ順調に進んでいるようです。こちらの名称は「おたけの郷」、事業者は、社会福祉法人「エンゼル福祉会」です。在宅で介護しているご家族が切実に求めているショートステイも一定数確保される予定です。完成が待ち遠しいのですが、それでも特養待機者の解消にはほど遠いのが現実です。おまけに特養ホームを造るたびに介護保険料の値上げに跳ね返ってきます。何とも矛盾した制度です。国が出すお金を半分に減らし、高齢者にし

横山幸次



町屋7丁目特養ホーム工事現場



給水槽（飲料水）のある日暮里南公園（1500ト）規模）...正面建物

荒川区の災害への備えは？ 区内施設を視察…問題点も

1月11日、区議会震災対策調査特別委員は、区内防災施設を視察。現状と問題点などお知らせします。

備蓄は...（日暮里備蓄倉庫）

区内には、災害用備蓄倉庫が5カ所。日暮里備蓄倉庫は、JRの高架下を借っています。通常の毛布や食料、簡易トイレなどと合わせて骨折セット、緊急医薬品、蘇生、熱傷などのセットも。いずれも救護所で医者が使うものです。全体備蓄の再点検も必要。



一刻も早いコミュニティバスの町屋地域への導入を

長年の懸案であるコミュニティバスの町屋地域への導入について「買い物難民」「福祉施設への交通手段」など様々な見地から早期実施を求めてきました。都営住宅建て替えや障害者施設の建設も進んでいます。ぜひ早期導入で、町屋地域を福祉のまちづくりのモデル地区に行きたいと考えています。（下図は横山試案）

災害用特設公衆電話

各学校に配備。避難場所からの連絡手段としていっそうの配備が必要ではないでしょうか。



給水施設...（日暮里南公園）

ここは、1日1500トの能力があるといいます。区の説明だと1人1日3リットルを基準に考えると十分対応できるとのこと。不足の場合は、南千住給水所（都施設 33,300ト）から持ってくるそうです。問題は、町屋、尾久



右は地下に保管された蛇口...

避難所のミニ備蓄倉庫

小中学校はじめ37施設にミニ備蓄倉庫を設置。規模は、ほぼ普通教室の半分程度です。訪れた2校小では、様々な物資の入った段ボールが積み上げられていました。大地震の時崩れて取り出しに苦労しないかと心配です。棚も作り、転倒防止もして整理しておくべきです。



コミュニティバスが、どこを通過してほしいですか。矢印は、横山区議の試案です。

お知らせ...

高齢者肺炎球菌ワクチン助成 3月31日まで延長

当初、1月末までとなっていた接種費用の助成を3月31日まで延長します。被災した東北3県に優先的に供給されるため、ワクチン不足が懸念され、1月末までに接種を行えない区民が発生する可能性があるためです。

対象者 2011年12月31日現在65才以上 60才以上65才未満で心臓・腎臓・呼吸器の機能障害またはHIVによる免疫機能障害 助成額 3500円 ~対象者には予診票が個別送付されています。



見当たらない方は健康推進課に

問合せ先 3802-3111内線433

東日本大震災避難者へ 予防接種費用の助成

荒川区内に避難されている方、全国避難者情報システム登録者の方は、以下の通りです。

5才以下 12名 6~9才 4名

10~19才 7名(女子4名)

20~64才 48名 65才以上 25名

計 96名

うち が助成対象年齢です。助成額は区民と同額。個別に案内を郵送します。なお、すでに接種を済ませた方には助成額を支払います。



| | |
|------------|---------|
| 小児用肺炎球菌 | 10,000円 |
| ヒブワクチン | 7,000円 |
| おたふくかぜ | 3,500円 |
| みずぼうそう | 3,500円 |
| 子宮頸がん | 15,000円 |
| 高齢者インフルエンザ | 2,265円 |
| 高齢者肺炎球菌 | 3,500円 |